

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月13日

【四半期会計期間】 第89期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 株式会社ハマイ

【英訳名】 HAMAI INDUSTRIES LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 河 西 聡

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部長 吉 村 真 介

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部長 吉 村 真 介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第88期 第3四半期 連結累計期間	第89期 第3四半期 連結累計期間	第88期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	5,869,193	5,950,606	8,142,283
経常利益	(千円)	172,008	372,241	357,732
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	76,454	241,639	224,696
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	188,919	20,078	547,344
純資産額	(千円)	12,741,233	12,952,849	13,099,657
総資産額	(千円)	16,461,733	16,751,626	17,170,606
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	11.46	36.21	33.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	77.4	77.3	76.3

回次		第88期 第3四半期 連結会計期間	第89期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	5.06	16.14

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。また、重要事象等は存在していません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの経営成績及び財政状態への重大な影響は、現時点においては生じておりませんが、今後の経過によっては重大な影響を及ぼす可能性があり、推移状況を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済活動に多大な影響が発生しており、輸出や消費の減少、企業収益や雇用環境の悪化など厳しい状況となりました。足元では経済に持ち直しの動きが出ているものの、新型コロナウイルス感染の収束が未だ見通せず、経済への影響が長期化することが懸念され、先行き不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループの主力商品であるLPG容器用バルブ部門は、コロナ禍の影響を受けにくい製品群ではありますが、その中で輸送用関連バルブに関しては、コロナ禍の影響を受け、前年同期比減収となりました。配管用バルブ部門については、世界経済動向の影響を最も受ける製品群ということもあり、国内外の工事の中止や設備導入控え・在庫調整等の需要の減少により、前年同期比減収となりました。一方、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門については、コロナ禍の影響も少なく、一部好調な業界に支えられ前年同期比増収となりました。また、黄銅削り粉の売上高は販売量減少と販売価格の低下に伴い減収となりましたが、全体の売上高は59億5千万円、前年同期比8千1百万円（1.4%）の増収となりました。

収益面につきましては、主要な原材料である黄銅材価格が少し落ち着いたこと、及び社会経済情勢を鑑み企業活動の効率化を図ったことに一定の効果が見られたことに加えて、連結子会社であるハマイコアの収益体系に改善傾向が見られたこともあり、営業利益は3億4千9百万円、前年同期比2億3千3百万円（200.9%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても2億4千1百万円、前年同期比1億6千5百万円（216.1%）の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔バルブ事業〕

当社の主力商品であるLPG容器用バルブ部門は売上高23億4千3百万円（前年同期比0.6%減）、配管用バルブ部門は売上高10億5千5百万円（前年同期比17.0%減）、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は売上高16億1千万円（前年同期比29.4%増）、その他売上高は5億8百万円（前年同期比9.8%減）となり、その結果、売上高は55億1千9百万円（前年同期比1.5%増）となり、また営業利益は6千5百万円（前年同期は営業損失1億6千8百万円）となりました。

〔不動産賃貸事業〕

賃貸収入は前年同期とほぼ同じ4億3千1百万円となり、営業利益は2億8千3百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して、2億9千8百万円減少し、84億6千3百万円となりました。これは主に売掛金が2億9千9百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末と比較して、1億2千万円減少し、82億8千8百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価が下落したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して、1億7千万円減少し、20億6千4百万円となりました。これは主に買掛金が8億4千3百万円増加したものの、支払手形が11億5千1百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比較して、1億1百万円減少し、17億3千3百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、1億4千6百万円減少し、129億5千2百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億5千4百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,518,000
計	11,518,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,424,140	7,424,140	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	7,424,140	7,424,140		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日 ~ 2020年9月30日		7,424		395,307		477,917

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 751,600		
	(相互保有株式) 普通株式 7,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,660,200	66,602	
単元未満株式	普通株式 5,340		
発行済株式総数	7,424,140		
総株主の議決権		66,602	

- (注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式35株が含まれております。
2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権50個)含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ハマイ	東京都品川区西五反田 七丁目7番7号 SGスクエ ア2階	751,600		751,600	10.12
(相互保有株式) 四国ハマイ株式会社	香川県高松市国分寺町 福家甲2466番地11	7,000		7,000	0.09
計		758,600		758,600	10.21

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,494,618	3,661,096
受取手形	² 1,062,640	1,025,860
売掛金	1,854,229	1,554,636
有価証券	195,258	109,950
商品	1,908	2,333
製品	601,060	640,280
原材料	277,284	253,881
仕掛品	1,162,588	1,094,394
貯蔵品	44,460	49,423
前渡金	49,254	49,354
その他	18,272	22,142
流動資産合計	8,761,574	8,463,357
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,266,558	3,127,392
構築物（純額）	97,157	90,372
機械及び装置（純額）	1,057,812	941,346
車両運搬具（純額）	2,292	1,570
工具、器具及び備品（純額）	44,090	34,552
土地	328,832	328,614
リース資産（純額）	95,685	88,737
建設仮勘定	186,568	626,214
有形固定資産合計	5,078,997	5,238,799
無形固定資産		
ソフトウェア	8,484	7,794
電話加入権	2,412	2,412
リース資産	4,813	1,772
借地権	360	360
無形固定資産合計	16,070	12,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,753,530	2,439,005
関係会社株式	1,705	1,705
出資金	310	310
長期前払費用	2,136	8,613
会員権	17,739	17,309
保険積立金	435,321	437,561
繰延税金資産	-	33,766
その他	98,176	93,665
貸倒引当金	300	150
投資その他の資産合計	3,313,963	3,037,130
固定資産合計	8,409,031	8,288,269
資産合計	17,170,606	16,751,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2 1,338,525	186,844
買掛金	444,109	1,287,317
未払金	101,618	95,098
未払法人税等	34,861	115,959
未払消費税等	22,980	93,109
未払費用	56,962	49,614
前受金	49,280	49,284
預り金	35,131	10,514
リース債務	41,787	40,395
賞与引当金	41,100	128,700
設備関係支払手形	2 68,742	5,341
その他	-	2,733
流動負債合計	2,235,098	2,064,912
固定負債		
役員退職慰労引当金	266,982	282,957
退職給付に係る負債	665,158	673,731
長期預り保証金	711,869	702,569
リース債務	86,454	74,607
繰延税金負債	105,385	-
固定負債合計	1,835,849	1,733,865
負債合計	4,070,948	3,798,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,307	395,307
資本剰余金	648,247	648,247
利益剰余金	11,840,414	11,915,241
自己株式	722,611	722,686
株主資本合計	12,161,357	12,236,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	947,720	729,876
為替換算調整勘定	9,420	13,137
その他の包括利益累計額合計	938,300	716,738
純資産合計	13,099,657	12,952,849
負債純資産合計	17,170,606	16,751,626

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高		
製品売上高	4,847,521	4,997,224
商品売上高	49,754	34,837
加工屑売上高	540,527	487,029
商品及び製品売上高合計	5,437,803	5,519,092
不動産賃貸収入	431,390	431,514
売上高合計	5,869,193	5,950,606
売上原価	¹ 4,874,715	¹ 4,804,635
売上総利益	994,477	1,145,970
販売費及び一般管理費		
運賃	67,259	67,493
役員報酬	115,198	120,171
給料	200,484	187,891
賞与	25,121	27,073
賞与引当金繰入額	32,713	28,700
退職給付費用	7,707	11,474
役員退職慰労引当金繰入額	14,950	15,975
減価償却費	16,902	19,610
その他	398,132	318,410
販売費及び一般管理費合計	878,469	796,798
営業利益	116,008	349,171
営業外収益		
受取利息	4,086	3,847
受取配当金	35,634	33,204
為替差益	5,569	
雑収入	12,797	12,849
営業外収益合計	58,088	49,901
営業外費用		
売上割引	2,043	2,687
為替差損		24,141
雑損失	45	2
営業外費用合計	2,088	26,831
経常利益	172,008	372,241

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
特別損失		
固定資産除却損	2,797	2,1,094
投資有価証券売却損	24,197	900
特別損失合計	24,995	1,994
税金等調整前四半期純利益	147,013	370,247
法人税、住民税及び事業税	92,851	171,616
法人税等調整額	22,292	43,009
法人税等合計	70,559	128,607
四半期純利益	76,454	241,639
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,454	241,639

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	76,454	241,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194,352	217,844
為替換算調整勘定	81,887	3,716
その他の包括利益合計	112,465	221,561
四半期包括利益	188,919	20,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,919	20,078
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 関連会社に係る注記

各科目に含まれている関連会社に対する主なものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
関係会社株式	7,050千円	7,050千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形	126,485千円	千円
支払手形	266,637 "	"
設備関係支払手形	1,148 "	"

(四半期連結損益計算書関係)

1 当期製品製造原価に含まれる賞与引当金繰入額および退職給付費用は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
賞与引当金繰入額	107,686千円	99,999千円
退職給付費用	38,303 "	30,216 "

2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
建物	36千円	千円
機械及び装置	742 "	161 "
工具、器具及び備品	17 "	650 "
リース資産	1 "	283 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	309,844千円	320,284千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	100,088	15	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年8月9日 取締役会	普通株式	66,725	10	2019年6月30日	2019年9月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	100,087	15	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金
2020年8月7日 取締役会	普通株式	66,725	10	2020年6月30日	2020年9月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,437,803	431,390	5,869,193
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	5,437,803	431,390	5,869,193
セグメント利益又は損失()	168,697	284,705	116,008

(注) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,519,092	431,514	5,950,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	5,519,092	431,514	5,950,606
セグメント利益	65,348	283,823	349,171

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円46銭	36円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	76,454	241,639
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	76,454	241,639
普通株式の期中平均株式数(株)	6,672,582	6,672,497

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第89期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当については、2020年8月7日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおりの中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 66,725千円
1株当たりの金額 10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2020年9月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

株式会社ハマイ
取締役会 御中

監査法人まほろば

指定社員 業務執行社員	公認会計士	土	屋	洋	泰	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	関	根	一	彦	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマイの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマイ及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。